

ネットビジネス準備マニュアル "So Long Yell" シリーズ



はじめての画像加工

.

著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。 本冊子の著作権は、発行者にあります。 本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意 した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになり ます。

1.本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承 諾するものです。

1.禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の 書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開す ることを禁じます。特に当ファイルを無断で第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事 業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

1.損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合が ございますのでご注意ください。

1.契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

1.責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責 任を負いません。 •

.

も	<	じ

.

• •

もくじ	3
はじめに	4
Photo Scape(フォトスケープ)のインストール	7
画像素材を探しに行こう	9
おすすめ画像素材サイト	11
上手な画像の探し方(背景編)	12
上手な画像の探し方(合成用画像編)	13
土台の画像を作ってみよう	17
背景画像にロゴ文字を入れる	20
ロゴ文字の色やパターンを変更する	23
ロゴ文字にアウトラインや影をつける	28
ロゴ文字アレンジをやってみよう	32
【豆知識】レイヤーという考え方	40
購入ボタンを作ってみよう	44
作った作品を保存しよう	57
モザイクをかけてみよう	61
背景を作ってみよう	65
簡単なコラージュをやってみよう	72
その他アレンジTips	79
その他アレンジTips その2	81
終わりに	85

はじめに

ネットビジネスでは、なんだかんだと画像を使う機会が多々あります。

ブログ記事の挿し絵、ちょっとしたバナーやサムネイル画像、 スクリーンショットも活用するしモザイクやボタンもよく使います。

こういった画像加工といえば、Photoshop(フォトショップ)や GIMP(ギンプ)といった専門のソフトが有名ですね。

とはいえあれらは本格的すぎて、それなりに学ばないとまともに使えなかったりするので、今日のお困りを今すぐ解決ってわけにはいかないし、 日々忙しい今、そこにカロリーを割くのはあまり得策ではありませんよね。

そこで、本作では無料ソフト「Photo Scape(フォトスケープ)」を使って、たった今からすぐに作れるごく簡単な画像加工のやり方を解説します。

フォトスケープはそもそも「撮った写メをデコっちゃいましょう」という 写真加工用の無料ソフトですので、そこまで本格的な画像加工ができるわけ ではありませんが、機能がシンプルな分、操作もシンプルですので 初めての画像加工にチャレンジするのに打って付け。



これは素材サイトでもらってきた背景画像にロゴ文字を入れただけの 超シンプルな作品で、5分もあれば作れます。



これも素材サイトの画像ですが、図形と文字を組み合わせたもの。なんか、お手軽な割にはデキる大人っぽい演出!

こちらは背景画像まで全部をフォトスケープで手作りしたもの。



購入ボタンも、フォトスケープでゼロから作れます。



購入ボタンは売り上げを大きく左右することもある繊細なパーツなので 自分で好きに作れるのはとてもありがたいですよね。

この他にも、イラストとイラストを合成する(コラージュ)、 モザイクをかける、など、ネットビジネス初心者がよく使うであろう 画像加工の手法をひととおり解説しますので、 本作1冊で、必要な画像加工はほぼ網羅できるでしょう。

こんなのが作れるツールだ、というサンプルとして参考にされてください。

他にも、本編ではいくつか簡単にできる装飾サンプルを用意していますの で、早速チャレンジしてみましょう。

Photo Scape (フォトスケープ) のインストール

まずは画像加工ソフトPhoto Scape(フォトスケープ)を インストールしてみましょう。

フォトスケープはWindowsやMacで使えるフリーソフトで、 幅広くさまざまなサイトでダウンロード可能になっています。

が、変なサイトからダウンロードすると 余計なソフトが抱き合わせでダウンロードされたり ウイルスがくっついてきたりとロクでもないことになるので Microsoft Store、もしくはMac App Storeからダウンロードします。

Photo Scape X Windows(10 バージョン16299.0以降) https://www.microsoft.com/ja-jp/p/photoscape-x/9nblggh4twwg



【数数 システム必要条件 間違するセクション

Mac

https://apps.apple.com/jp/app/photoscape-x-%E7%94%BB%E5%83%8F%E5%8A%A0%E5%B7%A5-%E5%86%99%E7%9C%9F%E7%B7%A8%E9%9B%86/id929507092? mt=12

もしくはApp Storeで「Photo Scape X」と入力してください。



デスクトップ、もしくはLaunchpadに フォトスケープXのアイコンが表示されたらインストール完了です。



画像素材を探しに行こう

では早速、背景となる画像素材を集めてみましょう。

あなたがwebサイトで使える画像は、

● あなたが自分で撮影した写真や、あなた自身が描いたイラスト
 ● 自由に使ってもいいと表記して公開されている画像素材の2種類です。

ちょうど欲しかった雰囲気の画像だからと、 無許可でよその画像を勝手に使えば罪に問われることもありますので よそのサイトの素材を使うなら、それ専用のサイトのものを使いましょう。

例えばこんな素材サイトがあります。

イラストAC

https://www.ac-illust.com/

こんなふうに、最初から「うちの素材を使っていいですよ」と 画像素材を公開しているサイトがたくさんあります。

無料で使えるサイトもあるので是非活用してください。

ただし、こういった画像素材には無料で使えるものもあれば お金がいるもの、会員登録さえすればいいものなど、 サイトごとにルールが決められていますのでそれぞれ確認が必要。

特に気をつけて欲しいのが、**商用利用ができるか**どうか、 また、クレジット表記が必要か、改変ができるかどうかの3点。

どんなに気に入った画像素材でも、商用利用NGであれば ネットビジネスでは使うことができませんので対象外となります。 また、中には画像を使う際には作者の名前を表記しなければいけない、と か、画像を使ってもいいけど加工してはいけない、など、 ルールを定めているケースがあります。

これらは、例えお金を出して素材を買ったとしても、 クレジット表記は必要とか、改変はNGなど、 有償無償に関わりなく各自でルールが定められているため、 お金を出したんだから何をしても自由だろう、とはならないので注意。

クレジット表記や改変NGの素材は加工にも使用にも何かと気を遣うため、 正直かなり面倒くさいし「できないこと」も多くてストレスですので 最初から避けた方が無難です。

これらはサイトごとにルールがまちまちですので、 素材を使う際にはそのサイトの利用規約をよく読んで対処しましょう。

最近私はもっぱらイラストACのお世話になることが多いのですが、 これは無料だからというよりも、権利関係がハッキリしていて 一律に商用OK改変自由クレジット表記義務なしと決まっているためです。

中には、同じ素材サイト内でも作者ごとにルールが違うサービスもあり、 「あの絵は自由に使えるけどあの絵は改変不可」みたいに 取り扱いがややこしいこともあるので規約はよくよく確認してくださいね。

のちほど、画像素材サイトをいくつかご紹介しますので 参考にされてください。

おすすめ画像素材サイト

ここでは、イラストや写真などの画像素材を 配布しているサイトをいくつかご紹介します。

先程も触れましたが、利用条件はサイトごとに決まっていますので できること、禁止事項をよく確認して有効に利用しましょう。

イラストAC https://www.ac-illust.com/

写真AC https://www.photo-ac.com/

フォトライブラリー(一部無料) https://www.photolibrary.jp/

いらすとや https://www.irasutoya.com/

Pixabay https://pixabay.com/ja/

無料イラスト素材ドットコム https://www.xn--eckzb3bzhw32znfcp1zduw.com/

ストックマテリアル <u>https://stockmaterial.net/</u>

Adobe Stock (有料) https://stock.adobe.com/jp/

上手な画像の探し方(背景編)

ではまず、背景用のイラスト画像を使った画像加工の場合。 素材サイトなどでお好みの画像を探して使う場合、画像を選ぶ際には これから作りたい**画像の雰囲気や、掲載するサイズ**も考慮してください。



そのまま使う



一部をくり抜いて使う





縮小して使う

縮小してくり抜いて使う

背景画像は、そのまま使ってもいいし一部をくり抜いたり縮小したりして、 好みの部分を好みのサイズに加工することもできます。

(拡大もできますが、画質が極端に悪くなるのでお勧めしません)

どれくらいの大きさの画像を作りたいのか、部分的に使うとしたら どこをどう切り取ったらいいのかを考えながら選びましょう。

ここで選ぶ背景が、作成する画像の印象を決めてしまうので、 イメージにあったものをじっくり選びたいですね。

上手な画像の探し方(合成用画像編)

次に、画像を組み合わせるときの合成用画像の選び方を見ていきましょう。

背景の画像の上に別の画像を載せたい、という時は気をつけないと画像によってこんなふうに白い余白が入ることがあります。



左の方は後ろの白い部分がそのまま載ってしまって、台無しですね。

右側の図のように、背景が透明になっているタイプの画像は、 一般的に「<mark>透過PNG</mark>(とうかピング)」などと呼ばれ、 **最初から背景が透明になるように作られて**います。

しかし、ごくたまに素材の作者さんが背景を透過し忘れていたり 背景を透明にできない形式の画像を選んでしまうと、 左の図のように白い背景がついてきてしまいます。

もし、白い背景つきの画像しか手に入らなかった場合などは、 PhotoshopやGIMPを使えば簡単に余白を切り飛ばすことができます。

一応、我らがフォトスケープでも余白の除去はできるのですが、 ちょっと下ごしらえが面倒くさくて手間がかかります。

ただ、画像素材サイトでは最初から合成する用の素材は 背景を透過させた透過PNG形式で提供されていることがほとんど。 ダウンロード時にちょっと気をつければOKですので、 画像の形式の違いについて少し触れておきましょう。

画像素材は、「JPEG (.jpg /.jpeg)」か「PNG (.png)」の どちらかで提供されることが多いです。

ざっくり説明するとこんな感じ。

JPEG形式

たくさんの色を再現できるため、**写真や風景のイラスト**など、 複雑で細やかな色使いのものに適している。

ただし、細やかになればなるほどデータサイズが重くなり負荷がかかる。

画像の拡大や縮小にはあまり向いておらず、 画質が荒くなったりピンボケしたりする。

PNG形式

少ない色使いで塗りつぶされたようなイラストや図形に適している。 ファイルサイズが軽くて画像の拡大にも強い。

また、背景を透過させることができるのも特徴。 素材サイトの多くは透過PNGでダウンロードできるようになっている。

ただし、PNG形式は細やかで複雑な色使いの表現には向いていないため、 写実的なイラストなど、一部では最初からJPEG形式しか提供されない ケースもあるので注意が必要です。

셯 illustAC	
JPEG	 ▲ ダウンロード ☑ この画像を編集
AI ver.CS	▲ ダウンロード
PNG	 ダウンロード ご この画像を編集

このPNG形式でダウンロードすれば背景が透過されていることがほとんど。 (まれにクリエイター側がうっかり透過し忘れていることもある)

こういった透過PNGを使うことで、フォトスケープでも ラクに背景画像の上にイラストを合成することができます。

バックグラウンドで使う背景画像はJPEG、 その中に合成する素材はPNG、と覚えましょう。

また、素材サイトではよくこのようにいくつもの絵が集まって セットになったものが出回っています。



これも、多少の手間はかかりますがフォトスケープを使って 欲しい部分だけ切って使うことができます(詳しくは後述)

ぜひ、チャレンジしてみてくださいね。

土台の画像を作ってみよう

まずは土台となる背景画像を作ってみましょう。

例えば、素材サイトから背景画像をダウンロードしてきて使うか 自分でゼロから背景画像を手作りするかの2択なのですが、 最初は背景となるイラスト素材を探してきて土台に使う方がより簡単です。

ここでは素材サイトでダウンロードした画像を使う方法を解説します。 フォトスケープを起動させてください。



背景にしたい画像をマウスでぎゅーっと持ってくるか、 右下にある「開く」マークをクリックして背景画像を指定します。 (中央にある「開く」という小さなリンクからでもOK)



まずは背景画像のサイズ変更や切り抜きから見ていきます。 (表示がない時は右上にある「編集」をクリックしてください)

× < > 1065974.jt	93						0 27-	, [] , ()	*	 7.⊢–▲	副	8
*//							7	イズ変更				×
							10- 103	本のサイズ 戦後のサイン	(cn) ズ (cn)	792 x 61 600 x 40	12 54	
		サイズ変更				\times		ピクセル(a) ()	チ(in)	cm	
		原本のサイズ (px) 調整後のサイズ (px)		792 x 612	2			i (en)	600 464			
			<)	600 x 46	4	and a second						
>								比率 (%)	1		100 \$	ŧ.
		ピクセル (px)	インチ	- (in)	cm		1	☑ 縦狭比: 『サンプル:	e W.At			
		唇 (nu)	ſ	600	_			基本				•
		үщ (рх)	-	000			16倍に拡大 (ディテールを保持)					
	高さ (px) 464			164 •				79	79±2 k			
inter a second	Sintle habe for all the	the second se	and the second second			8020		X 47	261		∕ auq	
	Sector and		al de la									

サイズ変更は、図のように幅もしくは高さを数字で指定すれば 自動的に縮尺されますので、右下の「適用」ボタンで適用してください。



切り抜きは、切り抜きたい部分をマウスでぎゅーっと指定して、 右下にある「切り抜き」ボタンをクリックすれば切り抜けます。



背景画像にロゴ文字を入れる

背景画像ができたら、ロゴ文字を入れてみましょう。



右上の「挿入」ボタンをクリックします。



あらわれたボタンの中から「テキスト」をクリック。 すると、文字を作るコーナーが表示されます。

この「テキスト」ボタンは、2回押せば2個、3回押せば3個といった具合に クリックするたびに新しいテキストコーナーが生成されます。



中央の矢印マークをクルクルすると文字が回転しますので ロゴ文字を傾けたい時には程よい角度まで回してください。

文字の右上にあるバツ印は削除マーク。 クリックするとこのロゴ文字は削除されます。

では、図のように、ロゴにしたい文字を入力して フォントの種類と大きさを指定しましょう。



21ページ

この時、選べる書体はパソコンに入っているものに限られます。

もっとポップなものやテレビのテロップのような書体、 手書きや毛筆の書体など、無料で出回っているフリーフォントを活用すれば もっとデザインの幅が広がりますね。

ただ、フリーフォントはウイルスを持っていることがあり、 無防備にダウンロードすると危ないので、 セキュリティソフトの起動確認など、十分に警戒してください。

では次のセクションで、このロゴ文字をもっと装飾してみましょう。

ロゴ文字の色やパターンを変更する

フォトスケープには、入力したロゴ文字の色を変えたり 模様をつけたりする機能が搭載されています。

フォトショップほど自由にあれこれできるわけではありませんが、なかなか多様な種類が揃っているのでお好みで活用してください。



まずはシンプルに単色の色変更をするとき。

図のように、単色の塗りつぶしマークをクリックすると カラーパレットが表示されますのでお好みの色を選びOKボタンをクリック。 欲しい色がない時は、<mark>別のカラーパレットに切り替え</mark>れば(**上図赤線部分**) ほぼ無限にどんな色でも作り出すことができます。

もっとロゴ文字にインパクトを出したい、という時には、 文字色に模様をつけることもできます。



図のように、パターンボタンをクリックすると あらかじめフォトスケープ内に用意されたさまざまな模様が表示されます。

水玉、ストライプといった定番のものから タータンチェックなどの変わり種まで幅広く種類があります。

ただ、あんまり奇抜な模様にしてしまうと、 読者さんがドン引きで離脱したり派手すぎて読みづらくなったりと あまり良いことがありませんので**見やすさ重視**で選びましょう。

パソコン画面の2m向こうから見て程よく目立つくらいがベスト。



こんなふうに、文字をレインボー柄にすることもできます。

無料版でも、普通のレインボーの他に 連続レインボーやパステル調レインボーなども利用可能。

さらに、下にある「回転」コーナーを活用すれば、 縦レインボーや斜めレインボーも作れます。

上級テクではありますが、彩度や色相を調整すれば もっと表現の幅が広がりますね。

もちろん、レインボーほど派手じゃなくでもいいから 2色くらいのグラデーションをかけたい、なんて時には グラデーション機能を使います。

	空豆に誓う		11
			٩
	源暎ロマンの一と	, 50	\$
空豆に誓う	₿ <i>┇</i> <u></u> ₽ <u></u> ₽ <u></u> ₽ <u></u> ₹ <u></u> ₹ ₹		
売吉に転る		S	
エエに言う	•	•	
「「二」 = 15 二	逆方向		
	回転 (*)	<u> </u>	+
3		<u> </u>	\$
	*8	<u>•</u>	\$
经显达言之	スケール (%)	100	\$
0	X (%)		
	Y (%)	<u> </u>	\$
	デフォルトに戻す	キャンセル	ок

グラデーションにはいくつか種類があり、 線形や円形、円錐形、反射の中からお好みで選べます。



26ページ

また、「逆方向」ボタンを活用すると、 今、設定している薄い色と濃い色の配置が逆転されます。

「うーわー濃淡が逆だったわ」って時にはクリックしてみてください。

上級テクではありますが、回転や色調などを調整すれば もっとグラデーションのバリエーションが出せるようになります。



これは完全に蛇足ですが、グラデーションを細やかに調整することで、 スーパーロボット大戦のロゴ文字みたいな 複雑に切り替えられたグラデーションも作れます。

ロゴ文字にアウトラインや影をつける

ロゴ文字の装飾は文字の色だけではありません。

文字に影をつけたり縁取りをしたりなど、

装飾テクニックはまだまだありますのでみていきましょう。

テキスト	?→××
i 🕞 🖃 🗐 🗊	Ċ
すずめの涙	
凸版文久見出しゴシック	v 50 ≎
в <i>I</i> ⊻ S ≣ ≣ ⊒	**
☑ 縦横比を固定	
■ 背景	
角度 ————————————————————————————————————	<u> </u>
不透明度 ————————————————————————————————————	● 100 ÷
+ 詳細オプション	
🗹 アウトライン	
雅频 🔜 🛄	
カラー	
原さ	32 \$
長い影	
■ #	

まずはアウトライン。 要するに"縁取り"のこと。

文字を縁取りたい時は「アウトライン」にチェックを入れて 細かい設定をしていきます。

文字の外側をくるりと普通に縁取る、 縁取ったフチだけ残して中身をくり抜く、

縁を文字の「外側」ではなく「中央」からとるといった調整や、 縁の色、模様、厚みなどもある程度は調整可能(限度があります)

次は「長い影」。



距離や角度、遠近を指定することで、 文字に3Dのような立体感を持たせることができます。

次は「影」。 いわゆるシャドーのこと。



シャドーを入れることで立体感が出て 文字を目立たせる効果があります。

距離や色、ぼかしや不透明度を調整することで、 クッキリした影やほんわりした影など、色々な表現が可能です。

非常によく使う機能ですのでぜひ活用してみてください。

次は「光彩(外側)」。



まるで光が外側に漏れているかのような効果を持ちます。

上の画像のように、文字をふわっと囲う機能ですが、 影と違い、上下左右まんべんなく同じ太さで囲われるのが特徴。

「ぼかした縁取り」みたいなもので、 テレビや雑誌などでもよく使われている表現方法です。

他にも、「オーバーレイとマスク」を使えば、 上の画像のように文字に引っかき傷のような効果をつけることができます。



もちろん、引っかき傷だけではなく、古い紙や布地など、 さまざまま素材が用意されていて、探検してみるのも楽しいですよ。

また、「変形」を使えば、文字の形を歪めることができます。

右上がり、遠近法など、いろんなパターンが用意されていたり、 文字列を自分でぐにゃっと曲げることもできるのでやってみてください。

ロゴ文字アレンジをやってみよう

では、ここまで見てきた文字装飾を組み合わせ、 ロゴ文字をデザインしてみましょう。



これらはすべて、イラストACで借りてきた背景用イラストをサイズ調整し、

部分的にカットしたものを使っています。



これは太めの文字にグレーのアウトラインを引き、 少しクッキリ濃いめの影をつけたものです。

アウトラインで縁取ってシャドーで陰影クッキリ、というパターンは バナーやヘッダー画像などでは鉄板中の鉄板ですよね!



33ページ

これはアウトラインを引いた文字に 「光彩(外側)」でダブル縁取りをしたもの。

「光彩(外側)」は、アウトラインより長さを持たせ、 ぼかしをゼロ、不透明度100にすることで縁取りのように使っています。



これも使い勝手の良いインパクトある組み合わせなのでとても便利です。

ただ、フォトスケープは「光彩(外側)」のぼかしをゼロにしてもフチが若干ボケてにじんだ感じになってしまうのがちょっと残念。

一番外側の縁取りがどうしてもホワッとにじんでしまいます。

また、「影」と「光彩(外側)」は同時にかけられないので ダブル縁取りにプラスして さらにシャドーをつけることはできません。

無理矢理やろうと思えば、 ピッタリ同じロゴを2個作って重ね合わせる方法があります。



こんなふうに、「縁取り+影」と「二重縁取り」をそれぞれ作成し、 ピッタリ重ねてあたかもひとつであるかのように見せます。



これは、中をくり抜いたアウトラインに、 さらに光彩(外側)でぼかしを入れたもの。



ちょっと暗めの色合いの背景にはしっとりとよく映えますね。

	テキスト	0 + ×
		ð Ó -
	新しい世界が	
。 新しい。 世界か。	03スマートフォントUI B J U S 王 王 王 「 単株比を開立 「 単株 Ag 不透明度 + 詳細オプション	• 50 ÷
4219503	 アウトライン 長い影 影 ※ 元均(外側) 罪さ 	38 \$
	ばかし カラー 不透明度	45 ¢

これは、白背景にあえて同系色の文字&光彩(外側)で、 色の濃淡だけで表現してみました。

なんだかアクアな雰囲気です。


これは、背景の画像がカラフルな時にホントよく使うテクニック。

カラフルな背景は、白でも黒でもどんな色のロゴ文字を使っても イマイチ目立ちにくくてロゴ文字のインパクトを出しにくいものなのですが こんなふうに半透明の白い帯を入れることでカラフル背景バッチこいです。



37ページ

画像加工入門

まず、真っ白い塗りつぶしの四角形を描きます。

「挿入」→「■(□ではない)」をクリックし、 マウスでぎゅーっと範囲を指定してください。

四角形はあとからいくらでも修正できるので厳密じゃなくてもOK。

描いた四角形をマウスでクリックしながら動かせば場所を移動できるし すみっこの青丸マークを引っ張れば大きさを変更できます。

端っこが少々はみ出したって気にしなくてOK。 保存するときに切り飛ばしちゃえばいいので気にしな〜い。

描いた四角形は、**不透明度を下げてお好みの半透明に**してください。 このサンプルでは不透明度を65にしています。

その上からロゴ文字を入れれば完成です。



白文字にシャドーをつけてみたバージョン。



半透明の帯を入れることでロゴ文字が入れやすくなりました。 こんな華やかな背景だと、サイトにも映えますね!

もちろん、黒い色の半透明をかぶせてもOK。 こんなふうに、上から白い枠線を重ねればデザイン感がアップするかも。

【豆知識】レイヤーという考え方

画像加工では、たびたび「レイヤー」という言葉を耳にします。 "重ねる"という意味で、残念ながらコスプレイヤーのことではありません。

例えばバナー画像は、土台となる背景画像やロゴ文字の画像など、 いくつかの画像を重ね合わせて構成されています。

その構成しているパーツひとつひとつをレイヤーと呼んでいるのです。



まるで昔のセルアニメのように、さまざまな画像を幾重にも重ねて、 思い通りの表現を作っていくのが画像加工なのです。

フォトスケープでも、このレイヤーという考え方をしています。



左上に表示される「レイヤー」ボタンをクリックすると 今の画像を構成しているレイヤーたちが表示されます。

レイヤーボタンが表示されない時は、今作っている途中の 文字でも画像でもいいので何かクリックしてみてください。

レイヤーは、マウスでぎゅーっとつかんだまま移動させることで 並び順を入れ替えることができます。

あれよりこれを上にしたい、こっちを下に重ねたい、などは レイヤーの順序をぎゅぎゅっと入れ替えることで表現できます。

また、これはフォトスケープの特徴なのですが、

土台にした画像と、あとから合成した画像では、 加工の自由度に雲泥の差があります。



こんなふうに、土台として最初に開いた画像は、 かなり自由度の高い加工をすることができます。

例えば拡大や縮小、切り抜き、色調の変更だって自由自在だし、 ミニチュア写真風だったりポスター風、モノクロやセピアなども クリックひとつで簡単にできちゃいます。

ところが、あとから挿入した図形や画像に関しては、 あまり加工することができません。

ちょっと影をつけたり、多少変形させるのが精一杯。

「はみ出した部分をカットする」とか「消しゴムで消す」

「モザイクをかける」ことすらできません。

ただ、そのつもりで工夫すれば、 こんな画像を作ることもできます。



こんなふうに、簡単な画像を組み合わせただけでも 保存する時に「はみ出した部分を保存しない設定」を選べば、 切り抜き機能を使えなくても切り抜きしたような画像が作れます。

工夫次第で「できない」ことが「できる」に変わったり「そう見える」ように持っていくことができます。

ぜひ、諦めないでチャレンジしてみてくださいね。 その時、本書が何らかのヒントになれば幸いです。

購入ボタンを作ってみよう

フォトスケープを使えば、こんなボタン画像も作れます。



こういったボタン類は素材サイトでもたくさん出回っていますけど、 実際に使ってみると「うーん、なんかちょっと違うんだよねー」って イマイチしっくりこない、なんていう経験、ありませんか?

このボタンなら、もちろん大きさも色もアレンジ自在ですし、 そんなに難しいものでもないのでぜひチャレンジしてみてください。

まずはフォトスケープを起動し、図のように「新規」をクリック。



新しいカンバスのサイズや背景を指定する画面が表示されます。

	プリセット	
幅 (px)	500 🜲	
高さ (px)	180 🜩	
背景		象をドロップ
 背景の 		新規 その他

作りたいボタンの大きさに合わせて、幅や高さを指定します。 今回はちょっと大きめの500×180ピクセルにしてみました。

それから非常に重要なのですが、背景は必ず右端のものを選んでください。 チェッカーフラッグを細かくしたような、アレです。

これは、色でも模様でもなく「無し」ですよ、という意味を持ち、 背景のない透過PNGを作るときの必須条件なのでくれぐれもご注意を。

もし、色や模様のある背景を選んでしまうと、 出来上がったボタンの周囲に余計な背景ができてしまい、 サイトで使う際に不恰好になってしまうので気をつけましょう。

「背景なし」を選んだらOKボタンをクリックすると 画像作成の画面に切り替わります。 が、このままではどこまでが500×180の範囲なのかわかりませんね。 そこで、下図のようにグリッドを表示させてみましょう。

•••						PhotoSca	pe X								
Q ₹	現ピュアー	「写真編集」		一括編集		GIFアニメ		道具	ストア						
×	> nonam	e.png										0 77-	71A-		
21														* 89	にんり
														0 C	ଁ
														Ľ 74	ズ変更
														() a:	<i>₹17</i>
														+ . 71	A-4
														- 88	
]					F 55₩	
>									1					⊦ £R	
-															Pro ve
		HT I													
±±±															
<u>ছি</u> জ্	124	- 1 21	1900 M												
	A	ĕ¥.	27A												
±± 1	100%	ज्ञ •	+		00 x 180										_ £
++ 1					 				0.0 0	NWL.	やり直し	やり道	原本比較	比較	M<

画面の一番左下、井桁のようなマークをクリックすると グリッドの種類が出るので、今回は練習に中央のものを選んでください。

すると、画面にラインが表示され、 どこまでがボタンの領域かがわかるようになりました。

この画面でいくと、中央に表示されたタテ4横4のマスの内側が 500×180の範囲、ということになります。

では、その範囲の中にボタンとなる図形を描いていきます。

画面右上にある「挿入」ボタンをクリックしてください。

					Photo	Scape X										
写真編集	カットアウト	一括編集	コラージュ	連枯	GIFアニ	メー印刷	11 通具	ースト	7							\$
						0	718-	.ġ. *		团 297-	ia ≺×−2	T Ptab	8	⊚ 拡大観		2 20
							150 810	× 50			•	ο		0	•	×
												丸長方形	-			₩×
											li	Î	≡Ì		Ó	
											カ	7- L				
											A	* 🔵)			0 \$
											A	g —		-0-		0 \$
											不	透明度 —			-•	100 ‡
			•								ブ	レンド 道	*		•	
							-	×				アウト	ライン			
							_					長い東	\$			
	L											16				
							i					光彩(3	\$ 1 0)			
												オーバ	ーレイと	マスク		
	•						-					変形				

図のように、「角丸長方形の塗りつぶし」を選んで、 画像のようにグリッドのちょっと内側を目掛けて四角を描きます。

マウスでぎゅーっと範囲を指定すればOK。 この時、画像の**外側ギリギリに多少の「余白」を残して**おいてください。

特に**下側は、後からここにシャドーを入れるのでちょっと広め**に、 残りの3辺はあとでアウトラインを入れた時にはみ出ないように、 縁取りする分だけ内側に余裕を持たせるイメージです。

とはいえ、やってみてはみ出たら直せばいいだけの話なので、 加減がよくわからない人は「とりあえずちょっと余白を持たせる」 くらいでOKです。



- ということで、グリッドよりもちょっと内側を狙うのがミソ。
- では、今描いた角丸長方形をボタンに成形してみましょう。



まずはボタンの色をつけます。

例題ではベーシックな赤い色のグラデーションにしました。 濃い方が#fff0000、薄い方が#fff7f7bです。

こんなふうに、ほんのりグラデーションで濃淡をつけてやると、 完成したボタンがちょっと立体的に見えるのでオススメ。

また、色はベーシックな赤もいいですけど、 緑やオレンジもクリック率の高い人気の色です。

ただ、何色がベストなのかはそのサイトごとに全部違うので、 正直、運営しながらテストしてみないとわかりません。

実際にデータを取りながらテストを繰り返すうちに、 「赤からオレンジに変えたら2倍成約した」みたいな話が出たりするので データを取りながらちょっとずつ試してみてください。

では、色が決まったところで形を調整します。



図のように、角丸長方形の「丸み」を調整すれば、 角がちょっと丸いだけの四角っぽいボタンにできたり 図のように半円に整えることもできます。

さらに、グラデーションよりももうちょっとだけ濃いめの色で縁取りをして やると、全体が締まって見えます。



次に、ボタンにワンポイントを入れるために、 **円形の塗りつぶしを使って小さな円**を描きます。

こういったワンポイントが入るか入らないかは、 クリックしてもらえるかどうかに地味に響く、実は重大ポイント。

一般に、文字だけのボタンよりもワンポイントが入った方が、 クリック率が良くなると言われています。

ここではベーシックに円と三角を組み合わせた、 カセットデッキの再生ボタンみたいなマークを作りますが、 状況に応じてメールアイコンや電話アイコンなどを素材サイトから借りて 配置してもOKです。

で。

実際に円を描くと、「まんまるが作れない~!」ってなると思います。 マウスの動きだけで真円を作るのは非常に難しいんです。



そこで、シフトキーを押しながらマウスでぎゅーっとやってみてください。

シフトキーを押している間は自動的にまんまるにできます。 他に、正方形を描きたい、まっすぐ横に線を引きたい、という時も、 シフトキーを押しながらマウスでぎゅーっとやればOK。

この白い丸には縁取りやシャドーは要りません。

次は中に入れる三角形を描きます。

画面右上にある「図」ボタンをクリックしてみてください。(「図」ボタンが表示されていない時は「挿入」をクリックすると出ます)

画像加工入門



このように、フォトスケープにあらかじめ用意されている、 図形のパターンが表示されますので、ここでは正三角形を選んでクリック。

図のように、まだ白いままの正三角形が描かれます。



この正三角形を、山が右に向くように回転させ、 大きさを縮めて赤く塗り、円の中に移動させます。

赤い色はグラデーションの濃い部分と同じくらいを目指しましょう。



次はボタンに入れる文字を書きます。

文字の色は白が無難。

明朝でもゴシックでも、サイトの雰囲気に合わせて選んでください。 できれば少し太めの文字が見えやすいです。

書いた文字には少しシャドーを入れるとよく目立ちます。 また、ぜひおんなじシャドーを三角マークにもかけてあげてください。

これで、ボタンの本体部分は完成です。 引き続き、このボタンに影をつける作業を行いましょう。



53ページ

ボタンに影をつけるには、いつも通り「影」ボタンでシャドーをつけるか、 上の図の左側のように、影だけ別に作って添える方法があります。

好みの問題ではありますが、影を別に作ったものの方が より立体感が出てイカしたボタンに感じるのは私だけでしょうか。。。

ということで、ここでは影を別に作るやり方を見ていきます。 普通のシャドーでいい人は「影」コーナーにチェックを入れればOK。

ではまず、影を別に作るために楕円形の「影のもと」を作ります。



図のように、円形塗りつぶしを選んで、かなり細長い楕円を描きます。 (この図では便宜上、わかりやすいように白い色の背景を加えています)

色は真っ黒よりも濃いめのグレーあたりで、 ボタンの土台からはみ出ない範囲でギリギリ下いっぱいの位置にします。

この時点では楕円がはっきり見えちゃってますが大丈夫。 最後に背面に隠して仕上げますのでこのまま作業を進めましょう。

実は、フォトショップなら図形そのものにぼかしをかけて

画像加工入門

そのままシャドーにすることができるのですが、 フォトスケープでは図形そのものにぼかしをかけることができません。

とはいえ今回はそう難しい図形でもないですから、 似たような状況を作って対応してしまいます。

	■ 10 = =↓ · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	Ад —b ÷
	不透明度 100 💠
	ブレンド 通常 ・
	■ アウトライン
	■ 長い影
(ご購入はごちら ▶)	🗹 光彩(外側)
	厚さ 100 💠
8 8 8 8	ぼかし 100 🗘
	カラー
	不透明度 80 ♀
	オーバーレイとマスク

今回は長さとぼかしが100、濃いめのグレーを不透明度を80にしています。

では、グレーの楕円を背面に隠していきましょう。



図のように、左上にある「レイヤー」ボタンをクリックします。

「レイヤー」ボタンが表示されない場合は、先ほど作った楕円でも ロゴ文字でも土台でも、なんでもいいのでクリックしてみてください。



するとレイヤーが表示されますので、楕円(円形)をマウスでぎゅーっと 一番下の角丸長方形(ボタン土台)のさらに下まで動かせば完成です。



作った作品を保存しよう

作品が完成したら、データファイルをしっかり保存しておきましょう。



画面の右下に「保存」ボタンがあるのでクリック。



57ページ

土台の画像よりも外側にはみ出したパーツがある場合、 このように尋ねられますので対処します。



「はい」を選んだ場合、はみ出たパーツも含めて全部が画像内に収まるよう に、自動的に画像サイズが大きく変更されます。

あらかじめ画像サイズが決められている作品の際には、 予定のサイズをオーバーすることになるので注意してください。

「いいえ」を選んだ場合は、はみ出た部分は容赦なく切り捨てられます。

土台からはみ出た部分は容赦なくカットされてしまうので、 せっかくのデザインが端っこでちょん切れてしまうかも。

もちろん無理に保存せず「キャンセル」して編集画面に戻り、 きちんと編集しなおしても全然OK!

サイズの問題が解決したら、このような画面が表示されます。

画像加工入門

•••	保存
保存 (\$\$S)	/Users/c
指定されたフォルダに保存	/Users/c kako26.jpg
別名で保存 (ひ #S)	りのファイル名、保存場所、または形式でファイルを保存しま す。
プロジェクトを保存… (℃�\$)	再編集を可能にするため、プロジェクトを(PSXPRJ)形式で保存し ます。
JPEG 画質 ファイルを保存する時は、高品質(9 ファイルが大きくなります。 原本の写真をバックアップし メタデータを保存します(EXI ファイルの日付を修正しませ DPI	● ゆう ↓ 123KB JPEG プレビュー 15以上)で保存することを推奨します。値が高いほど、面質が向上し、 バックアップフォルダー ます ビクチャ/PhotoScape X IF,GPS,IPTC,XMP) かん

「指定されたフォルダに保存」は、データを保存する場所を指定します。 右端の点々マークをクリックして場所を指定してください。

「別名で保存」は、出来上がった作品に名前をつけて保存する時、 実際にどんな名前で保存するのかを指定します。

出来上がった作品を、JPEGで保存するかPNGで保存するかなども こちらで指定できます。

「プロジェクトを保存」は、今まさに編集した内容を、 フォトスケープ独自の書式で保存できる機能です。 ファイルの編集中、**途中で切り上げたい時**や **また今度編集する予定がある時**などは 「プロジェクトを保存」を使って書式を保存しておけば、

次回、続きを編集することができるので便利です。



これは保存場所やファイル名、保存形式を指定する画面のサンプルですので ご参考にされてください。

モザイクをかけてみよう

パソコン画面のキャプチャ画像を使って記事を書く時など、 ネットで公開してはいけないたぐいの個人情報が映り込んでいて 画像の一部にモザイクをかけなければいけない場面が多々あります。

フォトスケープでは簡単にモザイクをかけることができますから 都合の悪い部分はモザイクでちゃんと処理すれば安心ですね。



まずはモザイクをかけたい画像をフォトスケープで開き、 右上の「編集」→「効果」の中にある「モザイク」をクリックします。

フォトスケープでモザイクをかけられるのは、 最初に土台として開いた画像のみです。

後から挿入したイラスト画像や図形などはモザイクをかけられません。

画像加工入門



うーわー!全部モザイクになっちゃった! でも大丈夫。図のように「マスク」をクリックして範囲を指定すれば、 モザイクがその部分だけになります。

	モザイク	×
	机筑	
	○ モザイク #1	
	● モザイク#2	
	● モザイク#3	
Appress English Treatment Treatment Treatment	0 2712#4	
	強度	50 ¢
READERSON READER	— マスク (M)	
	◎ ऱ ≡	
(金)		
	ブラシのサイズ	60 \$
👌 🐏 😜 🤐 🔐 🚯 🌐 🎲 😴 🚱 🕞 🚱 🚱 🖓 🚱	硬合	100 ¢
🚫 😡 🖱 🥌 🚱 🙆 🙀 🚔 🚯 🕼 🚱 🚱 🖓 🚔 🧲	マスクを	反転 (I)
「デジタルギャクリー」マスキャン計画に日本時を変しらう: 「「」」「」、「「本田によりられした見ません? ・見たによりるにでも用した見ません? 第二日の「思っいて」やのまり出した見ません?	77.08	\$云 (S)
		()) ())
		比較
	X #43/41	1 10
	× ++>+	✓通用

図のように「ブラシ(絵筆のマーク)」を選択し、 ブラシの先端の形状が表示されたらお好みのものを選びます。

四角い場所に四角くモザイクをかけるなら、正方形や長方形を選びます。

次いで、ブラシのサイズを指定します。 モザイクをかけたい範囲の大きさによって調整してください。

その下にある「硬さ」を100にしておいてください。

これは要するに、モザイクの不透明度のようなもので、 硬さのレベルが低いと、モザイクをかけてもうっすら見える状態になり、 都合の悪い部分を隠す効果が薄まりますので気をつけましょう。

準備ができたら「適用」をクリックします。



この部分にモザイクをかけたい、という部分を マウスでぎゅーっと塗りつぶします。 図のように、半透明の赤い色で表示された範囲がモザイクになる部分です。

マウスから指先を離すと選択した部分にモザイクがかかります。



この要領でモザイクをかけたい箇所すべてにモザイクをかけてみましょう。

背景を作ってみよう

フォトスケープはそもそも「写メをデコっちゃおう」というツールなので デジカメやスマホの写真を加工するのは得意なのですが、 図形を組み合わせて加工したり精緻なイラストを描いたりするのは苦手。

なので、バナーやヘッダーの背景画像をゼロから手作りするのは あんまり得意な分野ではないけど工夫すればできなくもありません。



これは単純な図形の組み合わせだけで作った背景イラスト。

10分くらいで作ったので色々粗いですが、正直にいうと、 これ以上凝ったものを作ろうと思っても 機能が追いつかなくて難しいかなと思います。

とはいえ、シンプルな背景でよければフォトスケープでも作れますので

そのやり方を見ておきましょう。

	PhotoScape X		
▶ ○ 写真ピュアー 写真編集 カット	ュ 連結 GIFアニメ 印刷 道具 2		\$
フォルダー お気に入り 両方			
 ジージロード ビクチャ 書類 Photoshop Cloud Associates Photoshop とクラウドの貫達付け Zoom 書類 - MORY of MacBook Air フォルダーを追加 	画像をド「 <u>開く</u> 新規	コップ E <u>の他</u>	

フォトスケープを起動し、「新規」をクリック。

これから作る画像のカンバスサイズを決めたら、 背景となる画像の柄を決めます。



水玉やストライプなど、色々なパターンを活かしてもいいし、 グラデーションもいいですね。 いずれにせよ、ここで決めるデザインは後から変更できませんので、この時点でしっかり決めておきましょう。

ここで選んだパターン柄やグラデーション柄などを、 このまま背景に使うこともできますが、 さらにもう一工夫することでより複雑な模様にすることもできます。

7- 4	具用来	7962.06	一路開席	19-91	ABAG	GIFZ-A	E EFRANS X	単長 ストノ					*
ioname.png	9								i C	ġ.		*	2
										. ~ 	-11		
										***		-1 els	- -
										00	. • •	<u>ا</u> ا د	=
										K 74	XRE 1	Ц. 1919 ж	•
										() a=	f17 (< 797 7-	27
										↓ 7ル	-4-	HDR	
										= 6	<mark>. (</mark>		0
										- 88			
										CO II		요 말~	«лн
										C 18		9 -1- 9 -1-	1.1.7
										◊ >+	-7) ##L	_
										∭ ∜	⁷⁸²² [図だ	49L
										罰い	78 X [■ 第科 ##	N€#
										🖉 en	væn (留 (また)	(ピン
										#*	みの除去 (0 278 171	7· // ト
										※ #8 強調	(2013) (2013)	5 80X	ERR
										1 27	イトパラ P	2	
											28 V	🗙 //9-	208
										0 **	UB	0) 808	を拡大

これは、オレンジをベースにしたグラデーション。 ここにパターン模様をかぶせてみましょう。

右上にある「編集」ボタンから「調整」→「パターンの塗り」を選びます。

すると、パターン模様が表示されますので、 上から重ねたいパターンを選びましょう。



この時、「不透明度」を調整すれば、 元のグラデーションを生かして新しい模様にすることができます。

また、「スケール」を調整すれば、

パターン模様の大きさを少し調整することができます。

とはいえ、フォトスケープではそこまで大きく拡大縮小する機能がないので せいぜい2倍の大きさ程度までとなります。

さらに、パターン模様には回転機能が付いていますので、 例えば横ストライプがあっという間に縦ストライプに、など、 どこかのマギーさんみたいなことが可能です。

この「パターンの塗り」機能以外にも、 背景をさらに装飾するテクニックがあるのでご紹介します。

今度は半透明の画像をかぶせる方法。



もともとフォトスケープに搭載されているストライプ模様に、 長方形の図を上からかぶせて、その長方形を半透明のグラデーションに。

スポットライトのような表現になりました。 その表現を活かしたのがこれ。



夜空の背景イラストは無料素材サイトからダウンロードして、 その上に黒いグラデーション、白文字を重ねました。 白文字にはうっすらと白い光彩(外側)をかけてあります。

もうひとつ。

フォトスケープならではの面白い機能をご紹介。



濃いめのブルーのグラデーションに、

「光」コーナーから光をプラスしてみました。

光コーナーには無料版でもそこそこの種類の光エフェクトが用意されていて それらをかぶせることで大きく雰囲気を変えることができます。

かぶせる光はもっと薄めにもできますので お好みで調整してください。 さらに、背景のモチーフでよく使われる「黒板」も、作ってみました。



これも、ゼロからフォトスケープで作ったものですが、 意外と単純なので、作り方を解説しながら15分程度でできました。 こういった背景を自分の好きな大きさでいつでも作れるなんて便利です。

ブログのサムネイル、YouTubeのサムネイル、バナー、ヘッダー、etc. それぞれ、縦と横の大きさの比率がちょっとずつ違っていたりして、 無理に使うと伸びきったTシャツの絵みたいになったりしますもんね。

四角形の組み合わせだけでできているので、 ぜひチャレンジしてみてください。

もちろん、大きくロゴ文字を入れてもいいし、 フォトスケープ形式で保存すればいつでも編集し直せます。

この黒板の詳しい作り方は動画にしていますので参考にされてください。 <u>https://youtu.be/LjrXqVUttuY</u>

画像加工入門

簡単なコラージュをやってみよう

土台の画像に別の画像を載せてコラージュする方法を見てみましょう。



この画像、元々は別のイラストを切り貼りしたもの。



72ページ
こんな素材を借りてきて、フォトスケープで細かくカット。 パーツに分けたものを別の土台画像に貼り付けました。

こんなふうに、いくつかの素材がまとめて1枚の画像になったような 「詰め合わせタイプ」の画像を使って切り貼りしてみましょう。

素材をダウンロードする際は「PNG形式」を選択すれば、 ほとんどのケースで背景が透過してあります。



フォトスケープで余計な背景を除去するのはとても手間ですので、 JPEG形式にしないように気をつけましょう。

(JPEG形式しか用意されていない素材もあります)

ダウンロードしたPNG画像のうち、単体で使えるものはそのままでもいいのですが、いくつかの画像が詰め合わせパックになっている素材は、

そのままでは使えないのでひと工夫します。



まずは切り貼りしたい画像を開き、

右上の「編集」ボタンから「切り抜き」を選択します。

切り抜きたい部分をマウスでぎゅーっと指定して選択します。

この時、切り抜きマドの大きさや位置は一発勝負ではなく、 切り抜きボタンを押すまではいくらでも好きに調整できるので、 慌てないでお好みの範囲を選びましょう。



範囲が決まったら「切り抜き」をクリックし。。。あ、あらら



こんな時は、消しゴムツールで余計な部分を消していきます。



右上の「道具」から「消しゴム」を選びましょう。

PhotoScape X							
連結 GIFアニメ 印刷 道具	ストア						*
		0		Ö. *	П 71-4	★ 挿入	(ў) ЖД
			Æ	消しゴム			$\neg \!$
				6-		マスクを	を表示 (S)
			ブラシロ	のサイズ			60 \$
			•	0	0 0	0	
			硬さ				100 \$
					• •	•	

消したい部分をマウスでカチッとやれば消えます。



これでOKなら切り取った画像を保存しましょう。

(• • • ₎ _	保存
保存 (#S)	/Users/
指定されたフォルダに保存	/Users,
別名で保存 (ひ 	判のファイル名、保存場所、または形式でファイルを保存しま †。
プロジェクトを保存 (℃�S)	再編集を可能にするため、プロジェクトを(PSXPRJ)形式で保存し ます。
JPEG 画質 ファイルを保存する時は、高品質(5 ファイルが大きくなります。	95以上)で保存することを推奨します。値が高いほど、画質が向上し、

図のように「別名で保存」を選びましょう。



保存の際は、必ずPNG形式で保存するようにしてください。 うっかりJPEGで保存すると余計な余白が入って台無しになります。

切り抜いた画像を使うときは、「挿入」→「イメージ」から選択。



大きさ、影、かたむきなど、お好みで調整してくださいね。

その他アレンジTips

このセクションは本当におまけのおまけ。 「こんな機能もあるよ」「こんな使い方もできるよ」という アイデアのメモ書きみたいなものですのでどうぞお気楽に。



この画像は、背景も含めて全部をフォトスケープで作ったものです。

とはいえ、すでに背景も作り方もロゴの装飾もお話ししてきたので、 ロゴとロゴがちょっとずつ重なっている部分の作り方(ってほどでもない) あとは周囲に散らしてある花びらのような模様の入れ方を見てみましょう。

ロゴとロゴがちょっとずつ重なり合っている部分は、 単にロゴ部分を「あ」「っ」「た」「か」「ラ」「イ」「フ」の 7つのレイヤーに分けて作ってあるだけです。

「あったかライフ」ではなく「あ」「っ」「た」「か」「ラ」「イ」「フ」。

その7つの文字レイヤーを、ちょっとずつ重ねて並べると 上の図のようになります。



また、フォトスケープに搭載されている「ステッカー」を使うと 用意されている模様をスタンプのように挿入することができます。



その他アレンジTips その2

これも便利でよく使う手法です。

こういうデザイン、ネットに限らず街のあちこちでよく見かけますよね。



シンプルながらもメリハリが効いてよく目立つという デザイン面の便利さも秀逸なんですけどね。

「いい写真なんだけどちょっぴり尺が足りないのよねー」とか 「ちょっとマズいものが写り込んでいるから隠したいなー」など、 そのままでは使えない中途半端な画像を有効利用するのにも打って付け。

見てよし、作ってよしと何かと便利な手法ですので、 この機会にぜひマスターしたいですね。

作り方は画像と長方形の組み合わせに文字を入れただけなのでとても簡単。 フォトスケープで作るときには2通りの方法があります。

まずは、画像に四角形を載せる方法から見ていきましょう。

画像加工入門

最初に新規で使いたい画像を開いて加工する方法。



元の画像を狙い通りのサイズまで縮小&切り抜きして、土台を作ります。

その上に「挿入」から塗りつぶしのある「四角形」を選び、 土台の上に被せます。

かぶせた四角形は透明度ゼロの真っ黒に塗りつぶしておきましょう。 (もちろん、黒じゃなくてもお好みの色でOK)

あとは、任意のフレーズをロゴ入れするだけ。 ここでは雑誌風にシンプルな細めの文字を入れました。

ただ、この画像のように土台にちょうどいいサイズの時にはいいのですが、 時として使いたい画像が縦長だったり小さかったりなど、 土台として不十分なケースがあります。

そんな時には、塗りつぶした長方形を土台に使います。



まず最初に「新規」で土台となる塗りつぶし長方形を作っておいて、 その上に使いたい画像を載せるのです。

このとき、素材画像をわざとはみ出るように配置させれば 保存するときに"いいえ"ではみ出た部分をカットすることができます。

これならサイズが足らない画像でも有効に使えますね。

また、素材となる画像のうち、使いたい部位によっては こんなふうにもうひと手間かけてやるとパーペキ。 画像加工入門



保存の時に、わざとはみ出させたところを切り飛ばすだけじゃなく、 上からもうひとつ長方形をかぶせることで 使いたい写真の使いたいところだけを効果的に使えますね。

.

終わりに

ここまで、無料で使えるフォトスケープを利用した、 簡単な画像加工を見てきました。

おそらく、ネットビジネスの初期段階で使うであろう、 画像加工は全部カバーできたのではないかと思います。

ぜひ今日からどんどん使ってみてくださいね。

でもね。

忘れないでください。

一番大切なのは、デザインの綺麗さよりも、 コンテンツそのものの面白さであり、情報発信の力なのです。

デザインに凝るあまり記事がおろそかになっては本末転倒だし、 あまりにもゴテゴテと飾り立てすぎてユーザーが不便を感じるようでは、 せっかくのデザインもマイナスになってしまいますね。

見る人、使う人の目線に立って、 あなたのメッセージが一番よく伝わるデザインを考えてみてください。

この1冊が、少しでもお役に立てば幸いです。